

図 18. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(旧大洲/大洲市：男性)

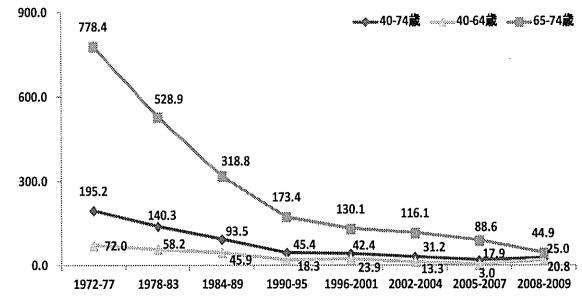


図 19. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(旧大洲/大洲市：女性)

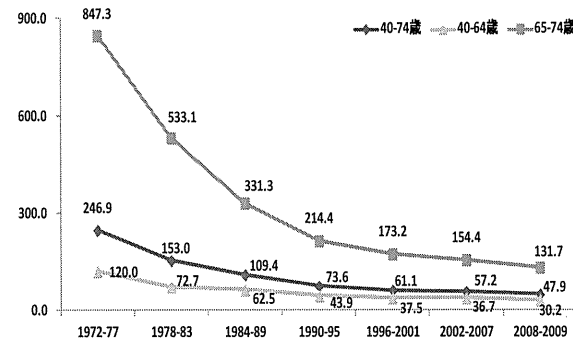


図 20. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(八尾市：男性)

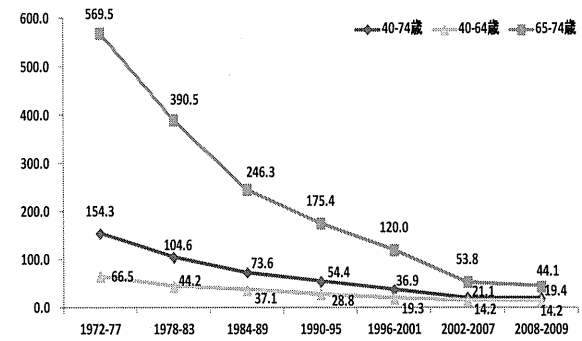


図 21. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(八尾市：女性)

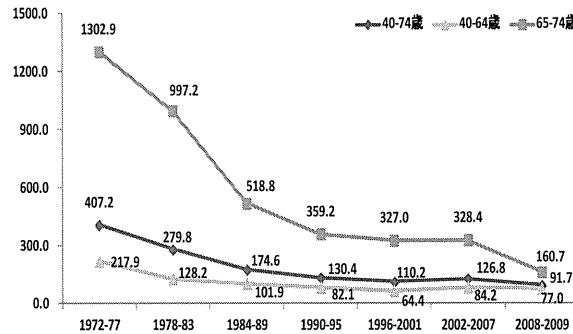


図 22. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(銚子市：男性)

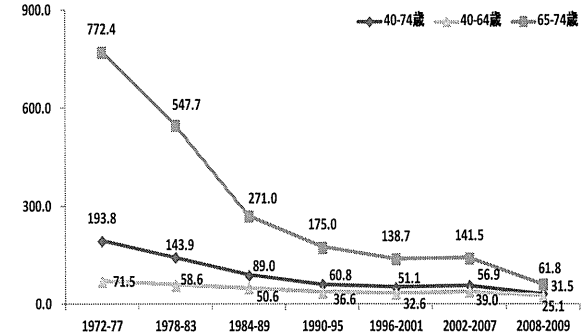


図 23. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(銚子市：女性)

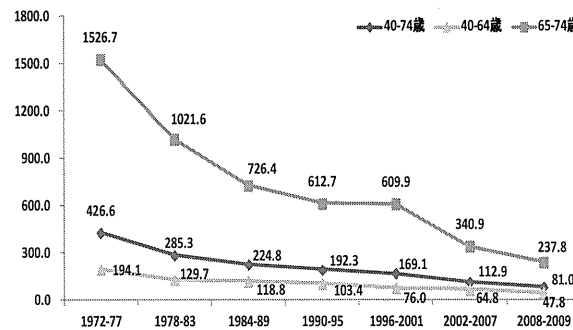


図 24. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(旭市：男性)

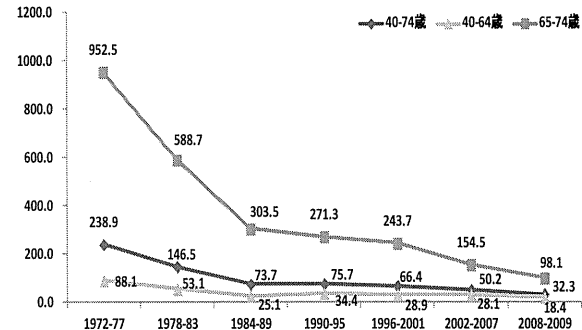


図 25. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(旭市：女性)

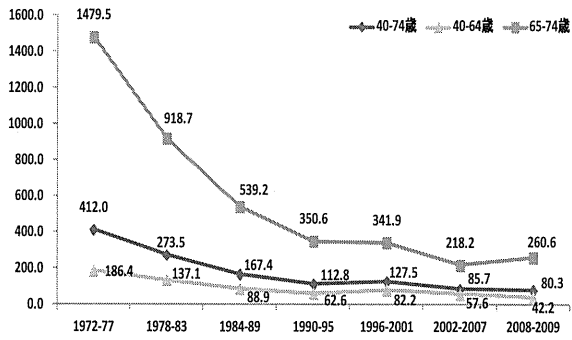


図 26. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(匝瑳市：男性)

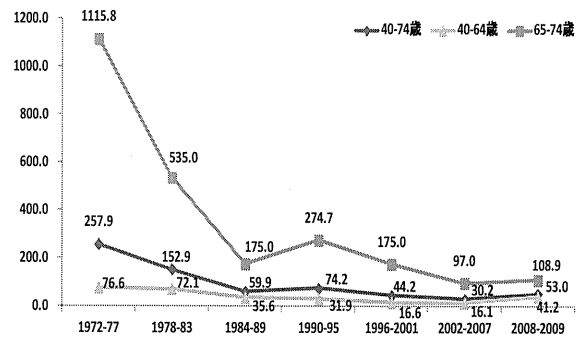


図 27. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(匝瑳市：女性)

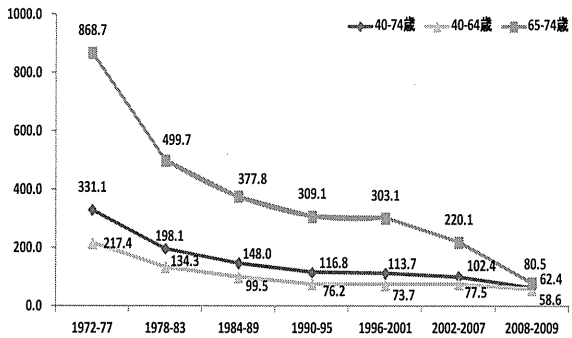


図 28. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(奄美市：男性)

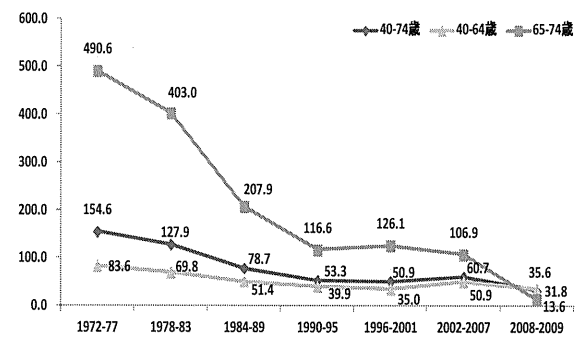


図 29. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(奄美市：女性)

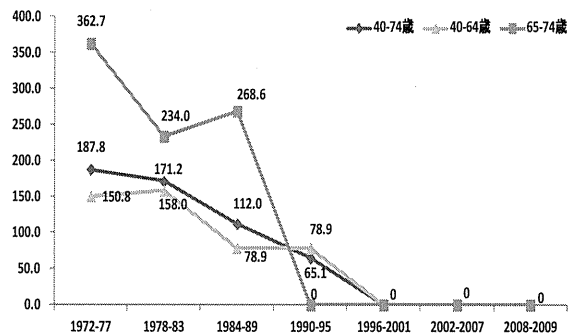


図 30. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(知夫村：男性)

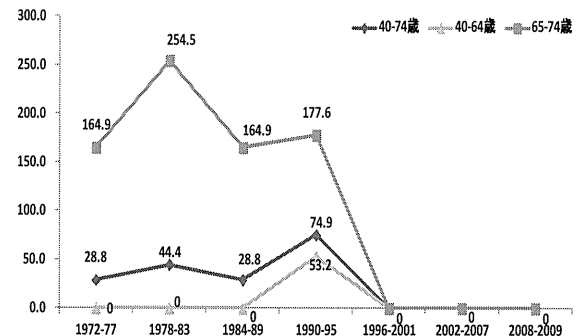


図 31. 年齢別にみた脳血管疾患死亡率の推移  
(知夫村：女性)

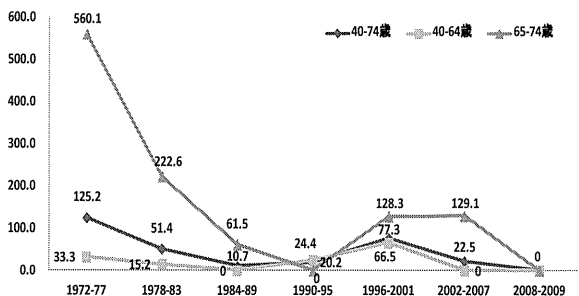


図 32. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(井川町：男性)

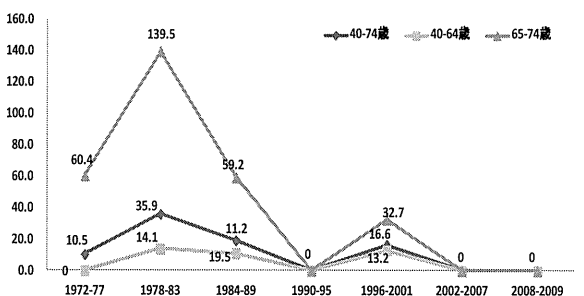


図 33. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(井川町：女性)

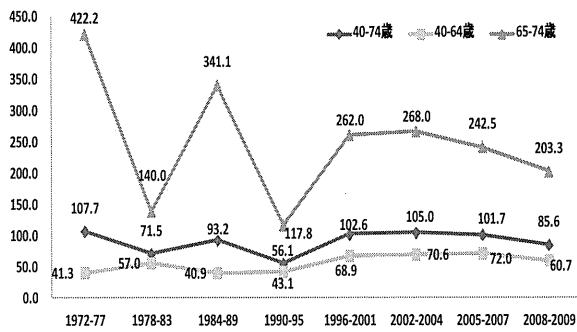


図 34. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (協和/筑西市：男性)

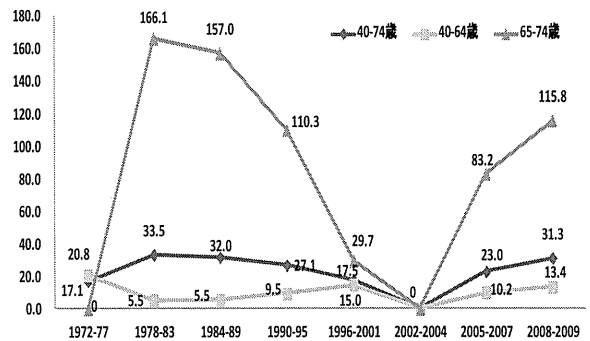


図 35. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (協和/筑西市：女性)

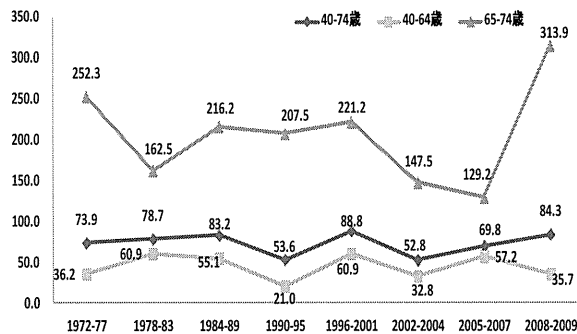


図 36. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (岩瀬/桜川市：男性)

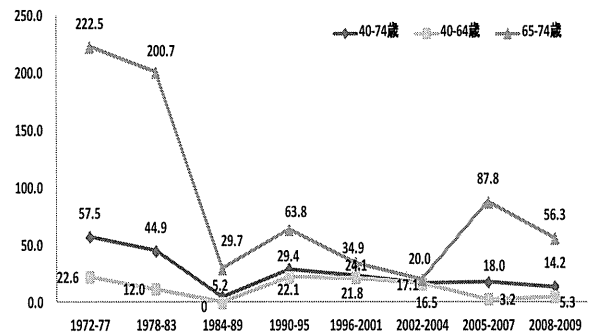


図 37. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (岩瀬/桜川市：女性)

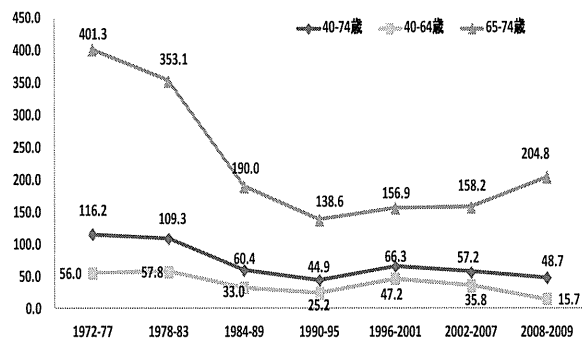


図 38. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (上五島/新上五島町：男性)

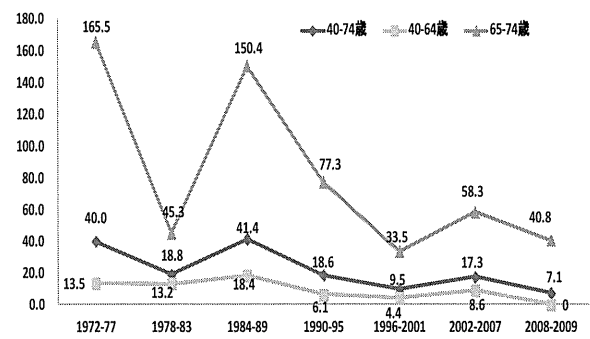


図 39. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (上五島/新上五島町：女性)

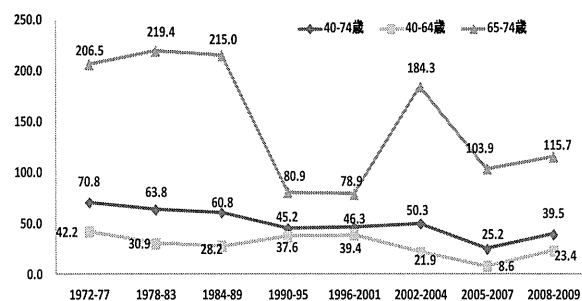


図 40. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (旧大洲/大洲市：男性)

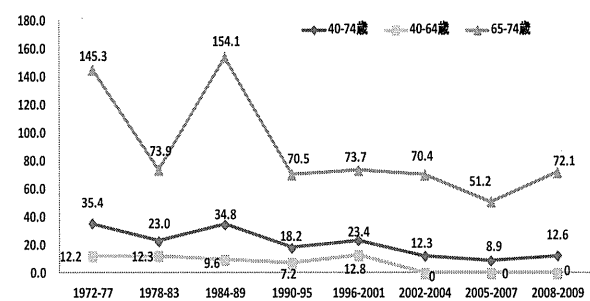


図 41. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (旧大洲/大洲市：女性)

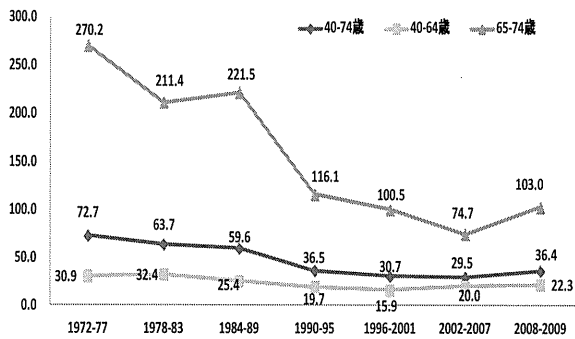


図 42. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(八尾市：男性)

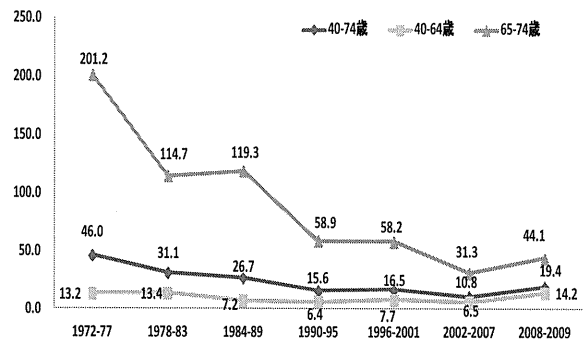


図 43. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(八尾市：女性)

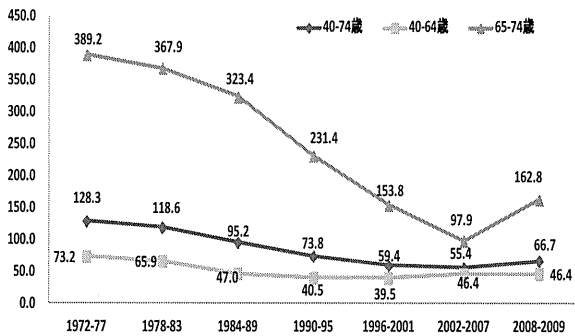


図 44. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(鉾子市：男性)

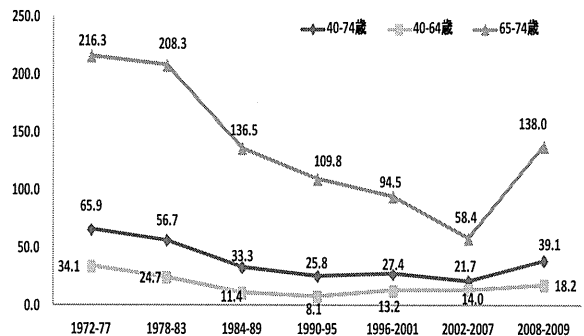


図 45. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(鉾子市：女性)

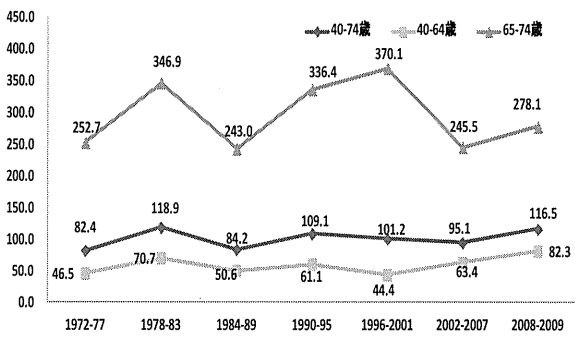


図 46. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(旭市：男性)

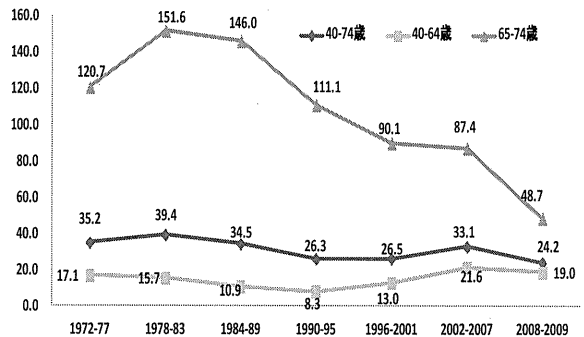


図 47. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(旭市：女性)

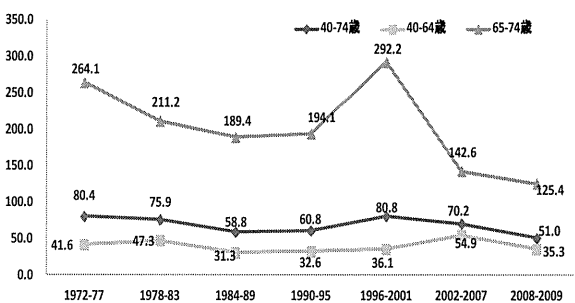


図 48. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(匝瑳市：男性)

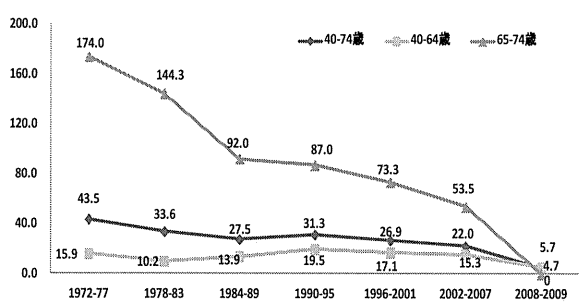


図 49. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移  
(匝瑳市：女性)

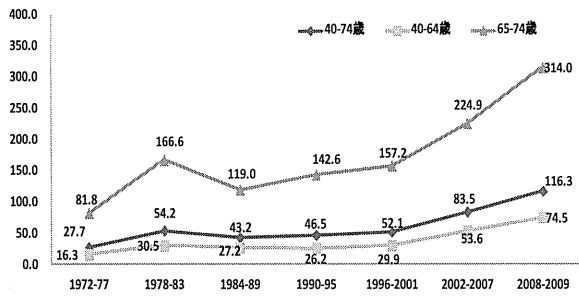


図 50. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (奄美市：男性)

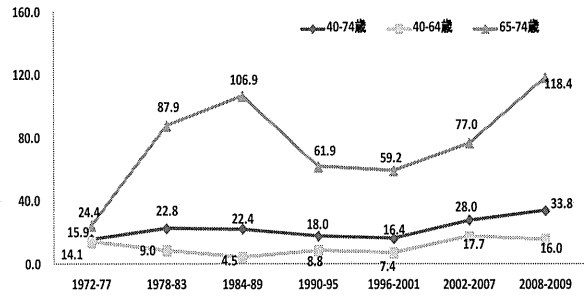


図 51. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (奄美市：女性)

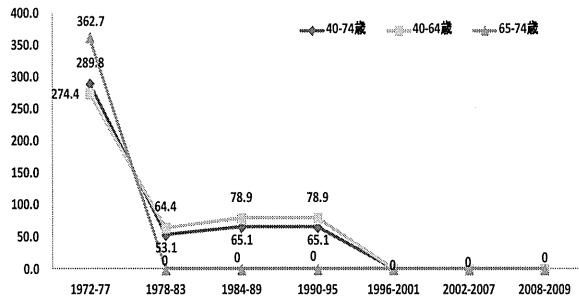


図 52. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (知夫村：男性)

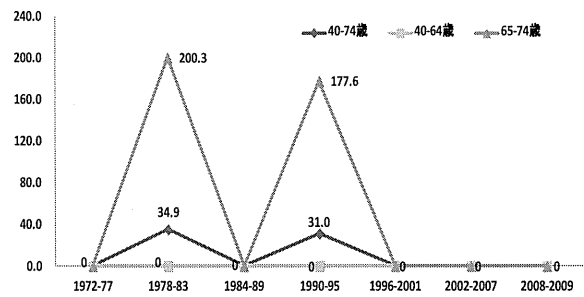


図 53. 年齢別にみた虚血性疾患死亡率の推移 (知夫村：女性)

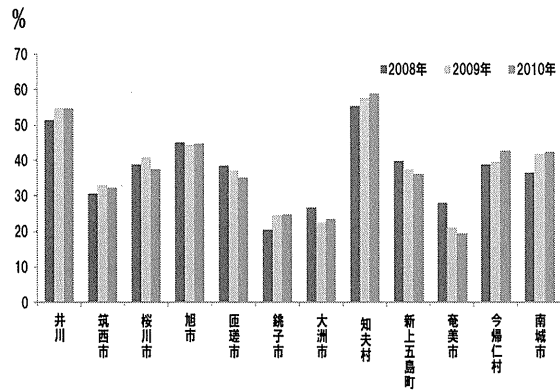


図 54. 特定健診受診率の推移

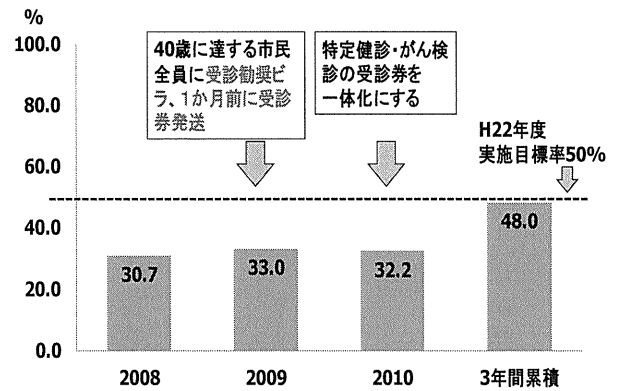


図 55. 3年間の累積受診率 (筑西市)

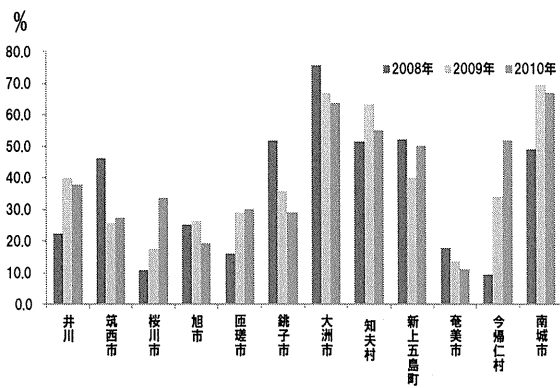


図 56. 特定保健指導終了率の推移

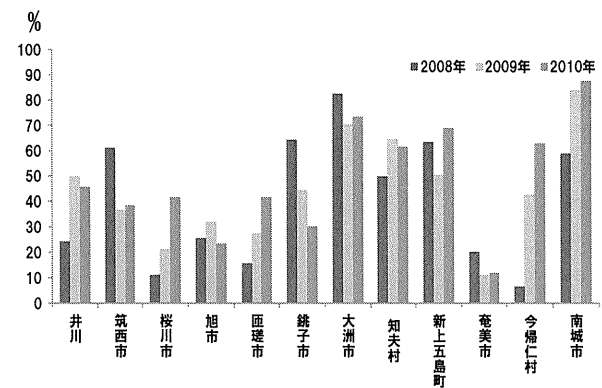


図 57. 特定保健指導終了率の推移 (動機づけ支援)

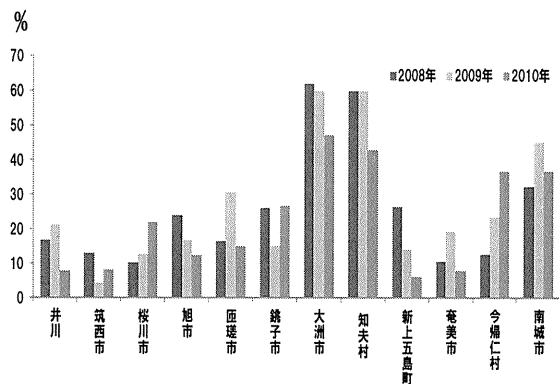


図 58. 特定保健指導終了率の推移 (積極的支援)

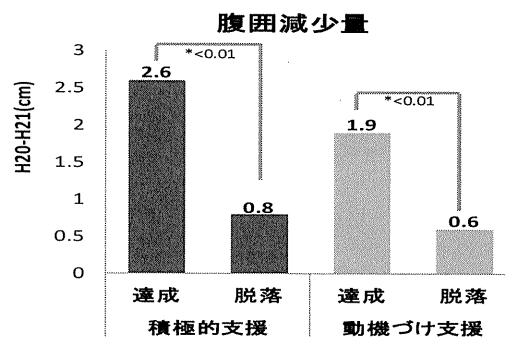


図 59. 保健指導達成別、腹囲減少量 (筑西市)

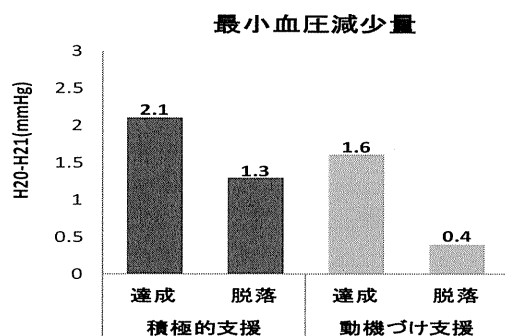


図 60. 保健指導達成別、最小血圧減少量 (筑西市)

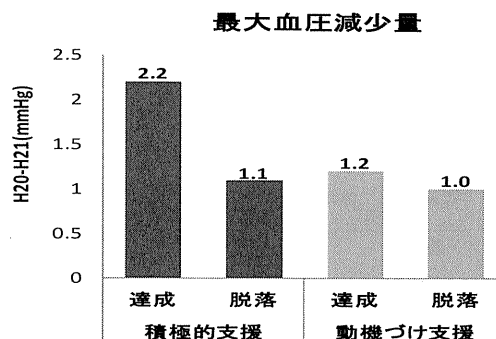


図 61. 保健指導達成別、最小血圧減少量 (筑西市)

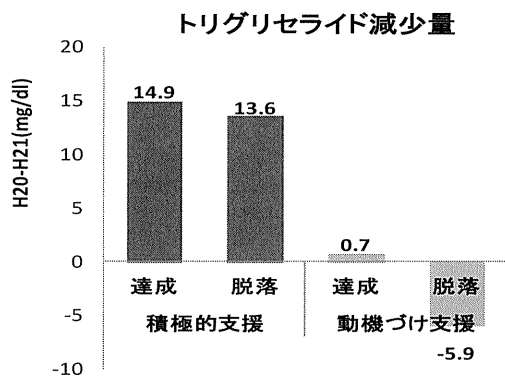


図 62. 保健指導達成別、トリグリセライド減少量 (筑西市)

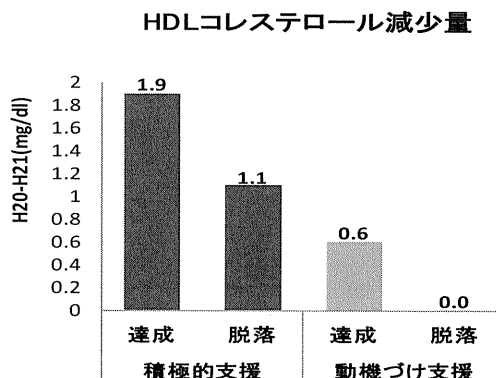


図 63. 保健指導達成別、HDL コレステロール減少量 (筑西市)

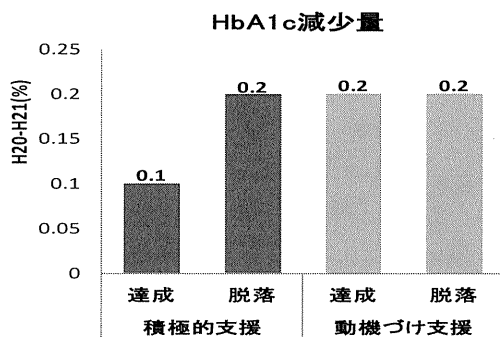


図 64. 保健指導達成別、HbA1c 減少量 (筑西市)

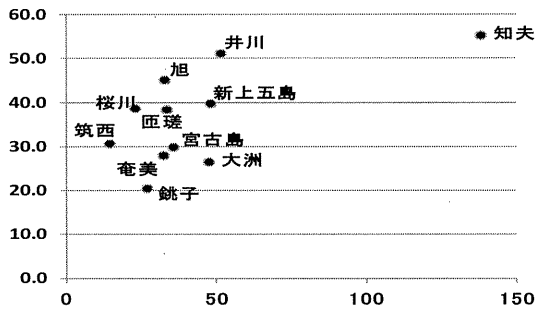


図 65. 保健師数と特定保健師指導受診率の関連  
(40～74 歳) (平成 20 年度)

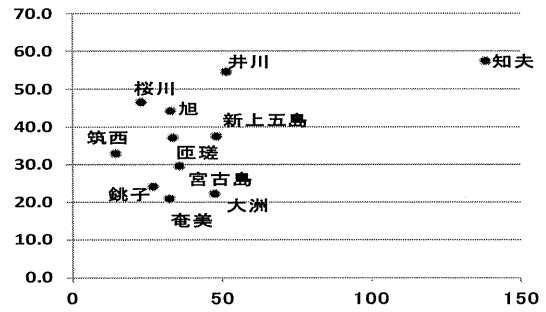


図 66. 保健師数と特定保健師指導受診率の関連  
(40～74 歳) (平成 21 年度)

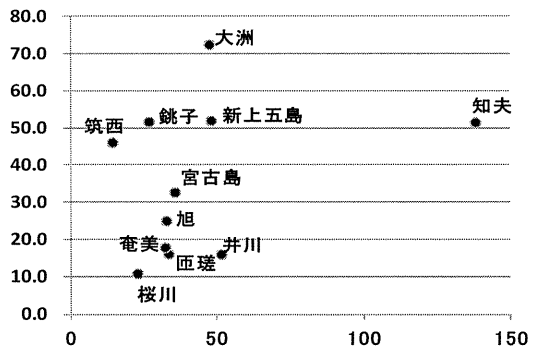


図 67. 保健師数と特定保健指導終了率の関連  
(40～74 歳) (平成 20 年度)

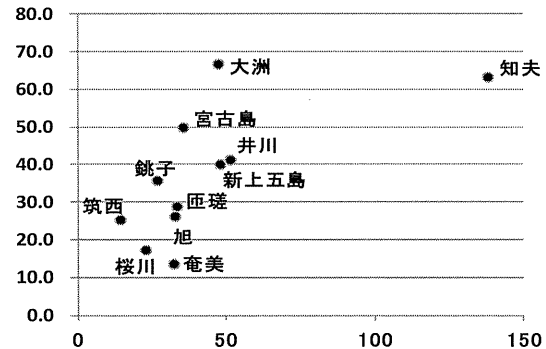


図 68. 保健師数と特定保健指導終了率の関連  
(40～74 歳) (平成 21 年度)

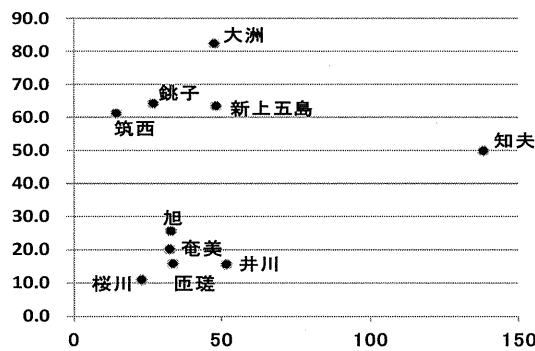


図 69. 保健師数と特定保健指導終了率の関連  
(動機づけ支援) (平成 20 年度)

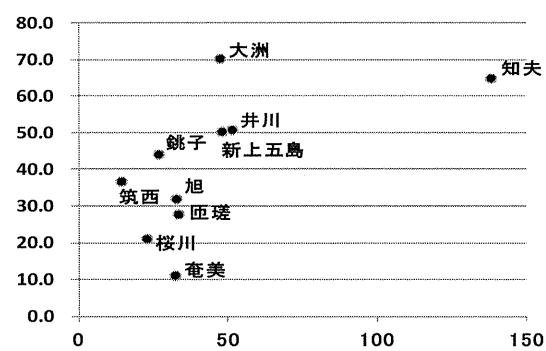


図 70. 保健師数と特定保健指導終了率の関連  
(動機づけ支援) (平成 21 年度)

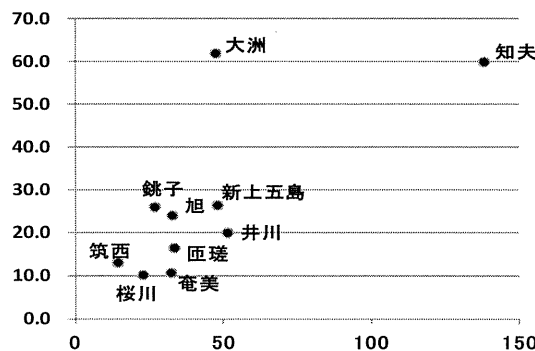


図 71. 保健師数と特定保健指導終了率の関連  
(積極的支援) (平成 20 年度)

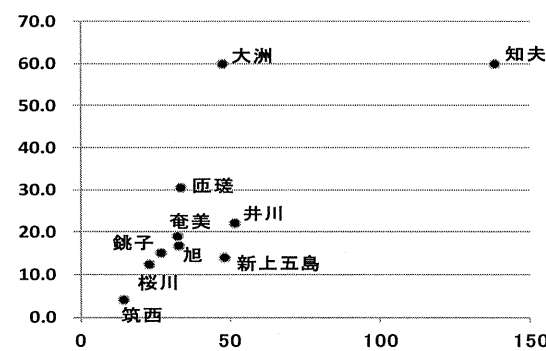


図 72. 保健師数と特定保健指導終了率の関連  
(積極的支援) (平成 21 年度)

■ 本研究対象者-平成20年度の指導区分

指導区分	人数	割合	内、終了者	割合
積極的支援	158	5.9%	98	62.0%
動機付け支援	283	10.5%	235	83.0%
情報提供	1700	63.0%		
服薬指導	457	16.9%		
合計	2598			

(特定健診受診率26.5%)

■ 保健指導区分別にみた1年後の診療点数中央値

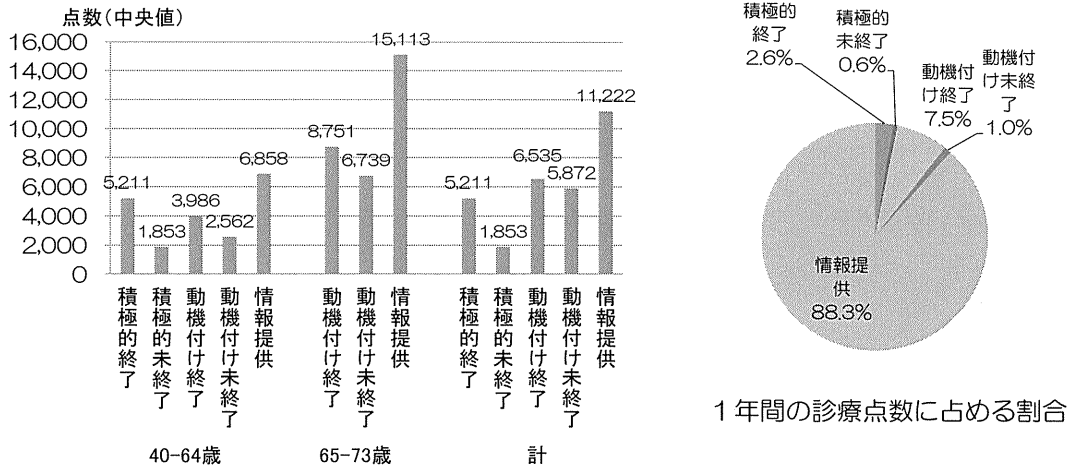


図 73. 医療費分析結果 (大洲市)

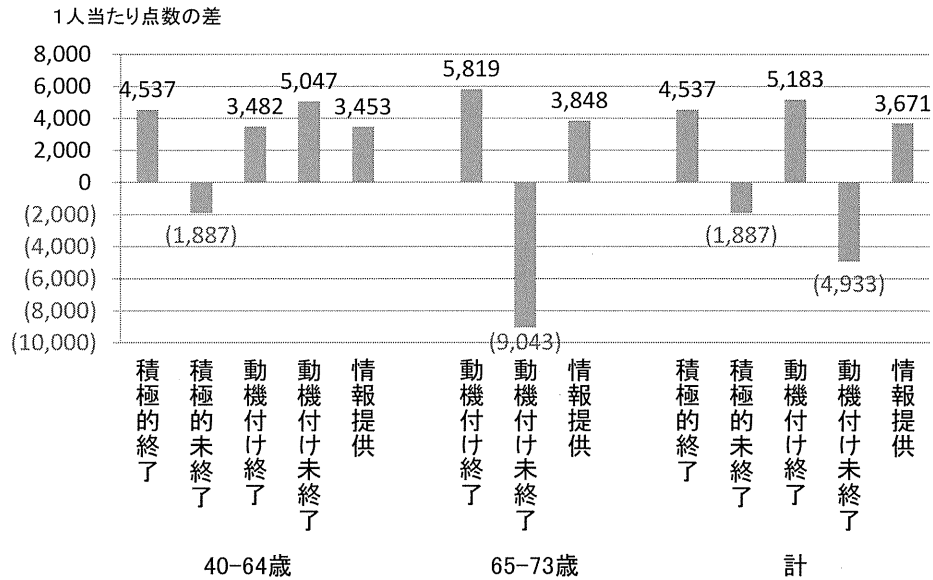


図 74. 平成20年度と21年度の一人当たり点数の差 (大洲市)



## 生活習慣に関するアンケート

「離島・農村地域における効果的な生活習慣病対策の運用と展開に関する研究」

※ 以下の各設問に対し、最も当てはまる回答番号に○を付けて下さい。

Q1. あなたの性別、年齢についてお伺いします。

- 性別は？ 1. 男性 2. 女性

- 年齢は？   歳 (数字を記入してください。)

Q2. 現在の健康状態はどうか？

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

Q3. 「メタボリックシンドローム」という言葉を知っていますか？

1. 内容を知っている 2. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない  
3. 聞いたことがない

Q4. この3年間で健康診断（血圧や血液検査など）を受けましたか？

1. 毎年受けている 2. ときどき受けている 3. ほとんど受けていない

Q5. 血圧が高いと言われたことがありますか？

1. はい 2. いいえ

Q6. 食塩を控えることはいつ頃から始めたら最もよいと思いますか？

1. 子供の頃から 2. 20歳の頃から 3. 30～40歳頃から  
4. 高血圧と言われてから 5. わからない

Q7. 塩分を控えることに関して、何か実行していますか？（例えば、おかずの味付けを薄くする、みそ汁やつけものを減らす、めん類の汁を残す、味がついたものにはしょう油をかけないなど）

1. 実行している 2. 以前実行したが、長続きしなかった  
3. 実行したことはない

Q8. Q7と同じ質問について、あなたの配偶者（または他の家族）の場合はどうですか？

1. 実行している 2. 以前実行したが、長続きしなかった  
3. 実行したことはない

Q9. 魚、肉、卵、乳製品、野菜などをバランスよく摂っていますか？

1. はい 2. いいえ

**Q10. ふだん外食をするときや食品を購入するときに、栄養成分の表示を参考にして  
いますか？**

1. いつもしている                      2. 時々している  
3. あまりしていない                  4. ほとんどしていない

**Q11. 魚は食べますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり食べない

**Q12. 肉は食べますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり食べない

**Q13. 植物油を使った料理（天ぷら、揚げ物など）は食べますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり食べない

**Q14. 牛乳または乳製品（ヨーグルト、チーズなど）は食べますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり食べない

**Q15. 大豆製品（豆腐、油あげ、納豆、煮豆など）は食べますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり食べない

**Q16. 野菜（漬け物を除く）は食べますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり食べない

**Q17. 果物は食べますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり食べない

**Q18. 砂糖の入った飲料水（缶コーヒー、清涼飲料水、スポーツドリンク、栄養剤な  
ど）は飲みますか？**

1. 毎日    2. 週5～6回    3. 週3～4回    4. 週1～2回    5. あまり飲まない

**Q19. 食べる速さはどうですか？**

1. かなり速い    2. やや速い    3. ふつう    4. やや遅い    5. かなり遅い

資料 1. 生活習慣に関するアンケート (つづき)

**Q20. ついついお腹いっぱい食べる方ですか？**

1. はい                      2. いいえ

**Q21. こってりしたもの（肉の脂身など）は好きな方ですか？**

1. はい                      2. いいえ

**Q22. 朝食を食べますか？**

1. ほとんど毎日食べる              2. 時々食べない              3. ほとんど食べない

**Q23. 余暇でスポーツや運動（ウォーキングを含む）は平均して 1 週間にどのくらいしていますか？**

1. 5 時間以上      2. 3～4 時間      3. 1～2 時間      4. ほとんどしない

**Q24. 日常生活の中で、室内または戸外で歩く時間は平均して 1 日にどのくらいですか？**

1. 2 時間以上      2. 1 時間以上～2 時間未満      3. 30 分以上～1 時間未満  
4. 30 分ぐらい      5. ほとんどしない

**Q25. 階段よりもエスカレーターやエレベーターを使う方ですか？**

1. はい                      2. いいえ

**Q26. タバコを吸いますか？**

1. 吸う                      2. やめた                      3. もともと吸わない

**Q27. アルコール飲料を飲みますか？**

1. 毎日                      2. 週 5～6 日      3. 週 3～4 日      4. 週 1～2 日  
5. 月 1～3 日      6. やめた                      7. もともと飲まない

● **また、アルコール飲料を飲む方は、アルコールを日本酒換算で 1 日に平均どのくらい飲みますか？（1 合は、缶ビールなら 350ml が 2 本、焼酎および泡盛（原液）ならコップ 7 分目、ワインならグラス 2 杯、ウイスキーならダブルに相当）**

1. 1 合未満              2. 1 合位              3. 2 合位              4. 3 合位              5. 4 合以上



幼児期の食生活チェック



最近、子どもの食生活の乱れから、様々な問題がおきています。このことから、幼児期から家庭での正しい食育が大切になってきています。食生活を確認する意味でも、チェック表に記入し、2歳児の健診当日に会場にお持ちください。

お子さんの食生活をふりかえり、できていることに○をつけてみましょう。

1	家族と一緒に食事をしている。	
2	朝食を毎日食べている。	
3	食事中は、テレビを消している。	
4	食事中、歩き回らず落ち着いて食べている。	
5	嫌いなものでも食べる努力をしている（させている）	
6	よくかんで食べている。	
7	野菜や果物をよく食べている。	
8	野菜や、果物などの名前がわかる（教えている）	
9	季節のものや、家にある食材を上手に組み合わせて食事を作っている。	

ココから塩分のチェックです！

○ は何個つきましたか？  個

1	おかずは、濃い味付けが好きだ。	
2	ハムやウインナー・ソーセージなどの加工品をよく食べる。	
3	カップラーメンなどのインスタント食品をよく食べる。	
4	麺類の汁を残さず飲んでいる。	
5	おかずに、醤油やソースをよくかける。	
6	漬物をよく食べる。	
7	味噌汁を毎日2杯以上飲む。	
8	スナック菓子をよく食べる。	
9	スポーツドリンクをよく飲む。	

○ は何個つきましたか？  個

2歳児の健診当日、会場にお持ちください。



# 野菜を食べよう!!

## もっと野菜を食卓へ

野菜は噛みにくく、さらに特有の渋みや苦みがあるため「苦手」「嫌い」という意識をもつお子さんが多いようです。

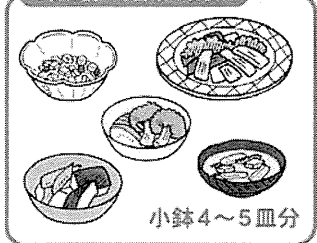
しかし、野菜にはビタミンやミネラル、食物繊維がたくさん詰まっており、肥満や生活習慣病予防のリスクを減らすために欠かせないものです。

## 野菜の効果

- ① 塩分を体の外に出してくれる働きがあります。
- ② 肥満や便秘を予防する働きがあります。

毎日色々な野菜を組み合わせて摂りましょう。

### 1日に食べる野菜の目安は



小鉢4～5皿分

1～2歳は200g位、3～5歳は250g位

## 野菜を食べさせる工夫

野菜が嫌いな子どもに「好き嫌いしないで食べなさい!」としかっても逆効果。ちょっとした手間や工夫で、野菜をおいしく食べてもらうコツをお知らせします。



### ① 子どもが食べやすい大きさ・固さに

小さな子どもは噛む力、飲み込む力が弱いので、大人と同じように食べることはできません。「食べにくい」という経験を繰り返すと、野菜に苦手意識を持ってしまうことも・・・。

食べにくいようだったら、少し小さめに、そして適度な固さにしてあげるとよいでしょう。

### ② 型抜きでかわいらしく♡

「くまさん」や「じどうしゃ」などの型抜きでかわいい一品を!

### ③ 子どもに野菜を選んでもらう!

自分で選べる楽しさと、選んだものが食卓にのぼるワクワク感を体験!

「おいしそうな野菜はどれかな?」

## ▶ 野菜ジュースは野菜のかわりになるの?

子どもが野菜を食べないから、かわりに野菜ジュースを と思っていませんか? 実は、野菜ジュースは、野菜に比べると食物繊維やミネラルなどの含有量が少ないため、野菜のかわりにはなりません。野菜ジュースは補助として上手に利用しましょう。

## ▶ ひと工夫して野菜をたくさん食べましょう

- ◇冷凍ぎょうざ …そのままでも野菜を加えてスープ煮に
- ◇肉 そぼろ …野菜を加えて三色丼に
- ◇野菜スープ …ミックスベジタブルや冷凍かぼちゃをいれて具たくさんに!

# おためしレシピ♪ おいしいよ!

## 簡単! ウィナーの雑炊

《材料》1人分  
 ウィナー …………… 2本  
 細かく刻んだ人参・ピーマン 適量  
 卵 …………… 1個  
 ご飯 …………… 1杯  
 だし汁 …………… 200ml  
 塩・しょうゆ …………… 少々  
 のり・ごま …………… 適量

### 《作り方》

- ①鍋を熱し2～3ミリ幅の輪切りにしたウィナーと野菜をかるく炒める。
- ②①にだし汁を加え、塩としょうゆで好みの味にし、沸騰させる。
- ③ご飯をザルに入れ流水ですすぎ、粒が離れた状態にする。
- ④②にご飯を加え、少しかき混ぜ沸騰したら鍋を円を描くように流し入れ、すぐ火をとめ、2～3回かき混ぜて鍋にそそく。
- ⑤のりやごまをトッピングすればできあがり。

よく利用する加工食品も、野菜とあわせれば、塩分や脂肪の摂りすぎが予防できます。

## ほうれん草のピーナツバターあえ

《材料》1人分  
 ほうれん草 …………… 30g  
 ピーナツバター …… 小さじ1  
 しょうゆ …………… 少々  
 砂糖 …………… ひとつまみ

### 《作り方》

- ①ほうれん草は熱湯でサッとゆでて水気を絞り、2cmの長さに切る。
- ②ピーナツバターとしょうゆ、砂糖をあわせ、①をあえる。

パンにぬるピーナツバターを利用してみてね。

#### 資料4. 保健医療専門職による研修・意見交換会（奄美市）

## 保健医療専門職による研修・意見交換会

### 1. 目的

鹿児島県名瀬保健所管内で実施されている生活習慣病の予防のための特徴的な対策について、他地域の保健医療従事者、研究者との意見交換をとおして、よりよい保健指導のあり方を模索する。

### 2. 実施時期

平成 22 年 1 月 19 日（火）

### 3. 実施場所

鹿児島県奄美市名瀬井根町 1-2  
奄美市保健センター

### 4. 対象者

当管内：名瀬保健所管内（奄美市、龍郷町、大和村、宇検村、瀬戸内町、喜界町）の保健師、栄養士、その他関係職員

来訪者：研究事業関係者 11 名（研究者、フィールドの保健師等）

H21 年度厚生労働省科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業『離島・農村地域における効果的な生活習慣病対策の運用と展開に関する研究』（研究代表者：磯博康／大阪大学大学院医学系研究科 社会環境学講座 公衆衛生学）

### 5. 日程

【1 月 18 日（月） 11 時 30 分から 17 時】

<現地視察>

あまみ文化学習（場所：鹿児島県奄美パーク）

健康増進活動施設の見学（場所：龍郷町保健センター（どうくさあや館））

タラソテラピー視察（場所：タラソ奄美の竜宮）

【1 月 19 日（火） 9 時から 12 時 45 分】

<交流会>

場所：奄美市保健センター

<事例報告> ・奄美市、龍郷町、大和村、宇検村、瀬戸内町、喜界町で実施している健康づくり事業の紹介や特定保健指導の実施状況など [各市町村の保健師等]

<研究班の紹介／これまでの活動と成果等>

<全体討論> ・他地区の類似事業との比較検討

・各事業の評価と課題について

<昼食> 12 時から 12 時 45 分（弁当を食べながら座談）

【13 時から 13 時 30 分】

<現地視察> 特定健診後の情報提供（会場：奄美市浦上公民館）



## 6. 保健医療関連職種による研修・意見交換会の内容

平成 21 年 1 月 18 日（月）～19 日（火）

場所：奄美市

<1 日目：1 月 18 日（月） 11 時 30 分から 17 時>

### 【現地視察】

#### あまみ文化学習

場所：鹿児島県奄美パーク

施設について：奄美の美しい自然や多様な文化、歴史をビジュアルに紹介するとともに、人々の交流の場となる「奄美の郷」と奄美の自然を描き続けた日本画家、田中一村の作品を紹介する「田中一村記念美術館」の二つの施設を中核とする奄美群島の観光拠点である。

<昼食 ～鶏飯定食（けいはん：郷土料理）～>

### 健康増進活動施設の見学

場所：龍郷町保健センター（どうくさあや館）

施設について：「どうくさあや」は奄美の言葉で「お元気ですか」という意味。平成 6 年にオープンした健康づくりの拠点は町民の憩いの場でもある。館内入浴施設にはトゴール石を利用した浴槽の他にサウナも完備。トレーニングルームや無料の休憩室などの付帯施設も充実している。

### タラソセラピー視察

場所：タラソ奄美の竜宮

施設について：タラソセラピーとは、海の自然資源を活用し、身体機能を高める自然療法である。館内では、タラソビューティー・タラソウェルネス・プールができる。プールは、タラソセラピーに身体を慣らすためや、個人個人に合わせた効果的な水中運動療法を実施しており、タラソ奄美の竜宮の中心である。

<2 日目：1 月 19 日（火） 9 時から 12 時 45 分>

<交流会>

場所：奄美市保健センター

参加者－研究班 8 名 医学生 1 名 保健師 2 名 栄養士 7 名 支所 1 名

【事例報告】・奄美市、龍郷町、大和村、宇検村、瀬戸内町、喜界町で実施している健康づくり事業の紹介や特定保健指導の実施状況など [各市町村の保健師等]

・龍郷町：

町の概要：

人口：6,275人（H21年12月現在）、世帯数：2,933戸

大島本島の北部に位置し、朝日が昇る雄大な太平洋と美しい夕日が見える東シナ海に囲まれ、ダイビングやサーフィン等マリンスポーツのスポットとして知られている。また、奄美群島では唯一人口増加がみられる町として注目されている。

特定健診・保健指導実施について：

20年度は、受診率24.0%、指導率26.4%であった。今年度は約24.0%（見込み）、指導率約58%（見込み）である。今年度は指導方法を変えて個別訪問したため、指導率が上昇するであろう。

特定健診の実施体制・方法：

集団健診のみの実施。今年度は、平成21年6月27日（土）～7月2日（木）の6日間と11月8日（日）の1日間、計7日間行った。料金は無料、対象者数1,402人、受診者数324人、受診率23.1%であった。

特定健診受診率向上の取り組みについて：

① 夜間集落説明会（健診前に実施）：

全18集落、延べ17回実施し、参加者数は約230人であった。集落の中には、1集落人数が5人という集落もあるので、その時は看護師訪問して対応した。

看護師、保健師、栄養士による未受診者への受診勧奨訪問（延422件）

健診体制の工夫（今年度より）：

会場を中央に一本化しバスでの送迎を行った。

② 受診率の高い集落の表彰（龍郷町町民フェスタにて）：

上位3位が選ばれて、1位の集落には、表彰状と記念品（歯ブラシ）を贈呈する予定である。

講演会の開催（龍郷町町民フェスタ）：

くまもと健康支援研究所 松尾洋先生による生活習慣病のお話

未受診者アンケート調査（11～12月に実施）：

対象者1,081人、回答者数542人（回答率50.1%）、現在集計中である。

特定保健指導 階層化別人数：

受診者324人のうち、動機付け支援37人、積極的支援14人であった。対象者発生率は動機付け11.3%（国推計：13.4%）、積極的4.3%（国推計11.5%）であった。国推計より少ないのは、龍郷町の受診率が低いこと、特に40～50代が少ないことが影響している。

特定保健指導の体制・方法：

実施方法はグループ支援と個別支援。対象者について昨年度はグループ支援のみ実施していたけど、指導率が非常に低かったので、今年度からは個別支援も実施するようにした。

指導実施者は、保健師・管理栄養士・健康運動指導士（グループ支援の時のみ）。

【実施方法】情報提供について、健診結果報告会にて実施する。

【内容】集団教育と個別指導の両方を行う。報告会欠席者については、郵送や訪問（要指導

者)にて結果を返却する。動機付け支援・積極的支援について、合同で集団教室を実施する。教室に参加できない場合、訪問による個別指導を実施する。

#### 特定保健指導の内容：

グループ支援は6回コースで夜間に開催している。配偶者や家族の方、一般の方にも来ていただき、計10名で実施している。その他期間中個別支援や電話支援を入れている。

#### その他の保健事業について：

一般運動教室（おなかスッキリ運動教室）：ポピュレーションアプローチとして実施  
平成20年度より開始、月1回夜間に開催している。

【対象者】希望する町民、平均参加者数は20名

【内容】身体計測・栄養講話・運動実技である

#### 重複・頻回受診者訪問指導：

従事者... 保健師・看護師

訪問件数は実績54名・延126件（H20年度実績）

#### 今後の課題と取り組みについて：

【特定健診の課題：受診率の向上】

##### 1. 実施方法の検討

- ・ 集団健診に加え個別健診の実施
- ・ 職場健診の対応

##### 2. 住民への周知

- ・ 受診勧奨推進員の養成（来年度より）
- ・ 受診率の低い40～50代への働きかけ
- ・ 既存の会合（集落・婦人会・PTA）を活用した説明会
- ・ 看護師等による未受診者訪問
- ・ 未受診者アンケート調査の実施

【特定保健指導】

- ・ 集団教室のコース拡大：夜間に加え、昼間と年代別に行う
- ・ 評価：個人の評価、集団の評価、事業の評価（評価方法を事前に決めて取り組むこと）
- ・ 指導者の資質向上：研修会の参加と他の指導者への複名、指導者間での勉強や打ち合わせ

【質疑応答】

Q1. 指導率が26.4%から58%へ上昇した理由について

A. 個別訪問を実施したため

Q2. 特定健診受診率が昨年度と変わらなかったかが、男女別にどのくらい違うか。

A. 女性58%、男性10数%である。

Q3. 未受診者（例えば、H20年度・21年度も受診していなかった人）や治療中の人を把握できるならば、治療中の人については、その人たちの医療機関に協力してもらって受診券を配布してもらうことはできるのか。

A. 可能である。

⇒来年度の一番の目標は受診率を上げることである。受診勧奨員というのは非常によいアイデアである。この人は何故来ないのか？こうすれば受診するであろう。とか、医師に雇っているから医師より勧めてもらおうとか、個別的な対応が必要である。未受診者で医療機関に雇っていない人をどうアプローチするかとか、既に医療機関に雇っている治療中の人をどのように指導していくかなど対象者の特徴をつかみ焦点を絞ることが大切である。

⇒千葉県内において、未受診者アンケート調査（Q. あなたが受診しないことにより受診率が低下し、将来、保険料が上がるということを知っていますか。）を行った結果、「そんなの知らなかった来年からは受診します」という回答が多かった。このような調査を行った市町村では受診率が若干上がった。情報は投げているけど把握していないことが多いので、アンケート調査は価値があると思う。

Q4. 20年度・21年度の特健健診が終了するにあたって、データの改善や生活習慣病の改善などは見られましたか。

A. 感触的に改善している方が多かったのでは。去年も特定保健指導対象者であり、今年も対象となった人はいたけれども、去年よりは良くなってきているので、今年も頑張って個別指導や集団教室に参加してもらおうよう促している。

Q5. 特定保健指導は6回のみで支援は終わりなのか。質的評価について考えていることはあるか。

A. 6回以降のことは、保健事業で各々自主的に参加してもらおう。

評価については、これから保健所より指導してもらいながら進めていく予定である。

#### ・大和村：

##### 特定健診について：

集団健診のみを4日間（9月6日～9月9日）実施している。料金は無料、対象者数491人、受診者数144人（受診率29.3%）であった。

##### 特定健診受診率向上の取り組み：

1. がん検診と組み合わせて、総合健診にしている
2. 健診日程に日曜日を入れて、休日健診を実施
3. 村広報誌への掲載
4. 全地区へは防災無線、区長による各集落内放送を活用した受診勧奨の放送

##### 特定保健指導：

- ・ 動機付け15人、積極的10人。
- ・ 専門職は保健師1人、初回面接は保健師が実施する
- ・ 運動指導は委託（フィットネスクラブアクア、タラソ奄美の竜宮）
- ・ 6ヶ月後に体力測定

##### 国保の保健事業：

医療費適正化事業（H20年度より実施）

- ・ タラソモニター事業（H20）

【目的】タラソを活用した前後のデータ比較を行い、対費用効果を明らかにすることで効果的